

5 / Political Alliances, Trading, and Feasting pp159 ~ 183

p 159-1 パラガラ

饗宴...主催グループが同盟グループをもてなす政治的行事

経済的、祭祀的意義 < 同盟関係の形成と維持

友好関係の再確認と育成、食物贈与。互惠的祭宴、敵対関係の回避などの効果

159-2

交換、経済的専門化、グループ間の歴史的結びつき、敵対関係、集落間の婚姻関係など

政治的同盟形成の発展的プロセスにおいて相互関係している

159-3

同盟集落のルーズなネットワーク 個人間の友好的関係による(2章参照)

ex.)Kaobawaの親族関係(4章参照)

歴史的結びつきにおけるいくつかの政治的結果

研究の目的：どのように共時的な関係を形成するのか？

通時的、共時的な政治的コンテキストにおける祭宴の詳細を知る

159-4

General Features of Alliances

同盟(予測的定義)...強力な敵によって集落や菜園から追い出された場合、お互いに居住地や食物を提供する義務下にあるパートナー関係

おおよそ1年かそれ以上、パートナーを養う義務がある

できるだけ個人的に新しい菜園と生産物を作る必要がある

Kaobawä グループは過去に2度、敵に追い出され、同盟関係の集落に逃げ込んだ

...2回とも新しい菜園で生産を開始するまで1年ほど滞在した。

受入側は返礼なしでKaobawä グループから女性を要求し受け取った。

対等な力関係から受入側が特権的に振る舞うようになった

保護を受ける期間が長引くほど、女性に関するコストも高くなる

できるだけ早く菜園を作って生産を開始してそこへ移住しようとする

同盟者なしでは、菜園の1つでも残し、敵の襲撃に耐えるか、小グループに解散し、永続的な基礎を持つより大きな集落に多くの女性を提供して組み込まなければならない。

...ジャングルは集団を定住的に維持するほどの食糧を生産しない

小さなグループはすぐに敵にみつかって迫害されるという戦争の脅威がある

160-1

菜園を追い出されてからの存在リスク 同盟なしで1集団として存在し続けるのは不可能

女性獲得に関して弱肉強食的な好戦的イデオロギー 皆が強者のように振る舞う

戦争の脅威から同盟状況を作り出すのが望ましい

しかし、それと同時に同盟形成に関わる好戦的イデオロギーが生み出される

同盟は必要だが、お互い本当に信頼はできない

160-2

同盟 発展的な継続...日常的な交換、相互関係的な饗宴、女性の交換

最も親密な同盟...結婚による女性の交換

戦争を制限する...交換、饗宴関係にある集落は攻撃しない(女性の誘拐など、特殊な事件がなければ)呪いをかけない

婚姻関係による同盟...相互依存が強い...女性を交換し続ける義務

160-3

同盟グループに女性を割譲したがない 約束通り返礼されないかもしれないと危惧する
大きなグループは小さなグループにプレッシャーをかける

...政治的な弱みにつけ込む

はったりと脅して強がる...平等視してもらいたい。独立存在のために必要。

胸叩き戦や棍棒戦(個人戦)に持ち込む

同盟関係でも各グループは多くの女性を手に入れたい

161-1

女性の互恵的交換をするには、長く困難な交換、饗宴の道を通り抜けなければならない

...疑いを信頼に変え、これを互恵的な祭宴に発展させなければならない

この段階にいたって、嫌がらないまでも用心深く互恵的な女性交換がおこなわれる

161-2

しかし、これはあくまで同盟関係の理念型である

...実際はめったにそこまでいかない(とくに両者が同等の戦力を持つ場合)

女性、食物、礼儀、寛大さをめぐる喧嘩や口論が発展する

主題が一時的に半敵対関係に引っ込む 将来的な親交への試み

両者間に明らかな戦力的潜在力の差がある場合

...強い方は同盟関係の初期に優位に立とうとする

自分たちの戦力にとって有利に運び、同盟関係の発展を逆の方向へ導く

161-3

女性交換ができた環境 必ずしも友好的なつながりの形成には伝導しない

...その原理のどれもが、相手を征服するために自らの主導権を主張しようとする。

...過去の戦争における勝利、過去の棍棒戦や胸叩き戦における獰猛さを自慢する

好戦的で大きな戦力をもっているので同盟が無くても困難を克服できるとほのめかす

弱い方が脆弱であるほど、強い方はその潜在力と生態学的ニッチにおける支配の維持(2章参照)

をほのめかしてプレッシャーをかける

161-4

策略...狡猾で潜在的に危険な仕事

交渉...威嚇の信憑性を確立しなければならない

相手のはったりを、実際の暴力行動に移らせてはいけない

政治的な瀬戸際政策

暴力に引き込まれる危険性...男を殺し、女を奪うために饗宴に招待することもある

162-1

Trading and Feasting in Alliance Formation

2つのグループが相互に訪問し合う 本質的な楽しみ

プライドや身分に対する自己概念を考慮すると、同盟関係発展の試みは排除される

潜在的な同盟相手の集落は気軽に訪問できないが、戦争時には補助が必要

攻撃を受けやすい反面、潜在的な同盟相手からの略奪も可能

「彼らは何ヶ月もかけて作った交易と祭宴という乗り物の中に、同盟相手への本当の気持ちを包み隠している」

その慣習の中に彼らはわずかな主導権とプライドを残しており、集落間の結束と戦争時の相互依存というオブジェクトを利用している

162-2

Yanomamö 交易の同盟関係形成に重要な 3 つの特徴

1. 異なる財の交換...no mraiha

一見、自由交換に見える...贈与物が返礼の贈与物の引き金となる。共時的交換

2. 財の複数集落間の移動、交換の連鎖

3. 交換財の特殊化

在地の特産品...イヌ、幻覚剤(栽培種、野生種)、鏃、矢柄、弓、綿糸、綿・蔓草のハンモック、
数種のバスケット、土器

外来品：スティール製品、釣り針、釣り糸、アルミ製品

162-3

生産物の特殊化は自然資源の賜物という意味では説明できない

どの集落でも自給自足しうる(外来品は例外)

...同盟形成の社会的側面が重要

交換...社会的触媒、起動メカニズムとしての機能

頻繁な接触 同盟形成を促進、維持する

162-4

Mömariböwei-teri はKaobawä グループ、Shamatari 集落と同盟関係にあった

(Kaobawä グループと Shamatari 集落は致命的な敵対関係にあった)

Mömariböwei-teri の話...土器作りの知識をかつては持っていたが、現在では忘れてしまった

Möwaraoba-teri(Sibarariwä の集落)から土器を供給されていた

彼らの土地の粘土は土器製作に適していなかった

数年後、戦争の影響で Möwaraoba-teri から土器供給が遮断された

...同時に、Kaobawä グループが Mömariböwei-teri に土器供給を要求しはじめた

Mömariböwei-teri はすぐに「覚えている」方法で土器を製作し、近隣で土器製作に適した粘土を「発見」してきた。

...彼らは同盟相手との交換のためだけに在地に不足している物品を「作り出した」

163-1

Yanomamö は綿糸を別のグループから「輸入」し、同盟相手に「輸出」している

...加工されたハンモックのかたちで戻ってくることもある

暑さが続いて畑に被害が出ると、同盟相手に食糧援助を求める

...この援助は互恵的だが、交換ネットワークの一部ではない

163-2

環状の同盟 / 敵対関係...近年に分離したグループ同士が敵対関係になりやすい

ex.》Kaobawä グループの同盟 / 敵対関係

交換関係：Makorima-teri、Daiyari-teri、Mahekodo-teri、Iyäwei-teri

...弱い同盟関係で、限定された範囲での戦闘も許されている

饗宴関係：Reyaboböwei-teri、Mömariböwei-teri

女性交換関係：Reyaboböwei-teri

敵対関係：Iwähikoroba-teri、Möwaraoba-teri

...Reyaboböwei-teri、Mömariböwei-teri と共通の歴史をもっている(近年分離した)。

Patanowä-teri からの分離グループ

...Kaobawä グループと歴史的な関係がある。

環状の同盟 / 敵対関係

164-1

同盟関係の強さと地理的關係はあまり関係ない

...ただし、近隣グループとは少なくとも交換関係にあり、激しい敵対関係にはない

近隣集落間のつながりが、血縁関係、婚姻関係、互恵的饗宴関係、日常的交換関係かどうかは

...集落の規模、最近の戦争状況、歴史的つながりなど、多くの要因による

いずれにしても、どのグループも他グループに対する主導権と独立権を維持しようとする

164-2

Yanomamö 交換：同盟関係促進という隠された機能(Yanomamö 自身は公然と認識してはいない)

メラネシア、トロブリアント諸島の交換に似ている...「機能的な不知」(Malinowski1922)

交換による人の行き来 経済的政治的相互依存関係の設立に関係している

...とは彼ら自身は考えていない

Yanomamö にとっての饗宴

...大量のごちそう、興奮するダンス、賞賛される満足感、着飾りたいという願望

主催者側の女性と秘密の情事が持てるのではという期待

自分自身を表示する機会

164-3

饗宴の主催者側も自己表現の機会をもつ

...饗宴での豊潤さや飽食さの表現 同等の返礼饗宴を招待側に求める(競争的側面[M.Mauss1925])

...競って大量のバナナやピーチの飲み物を飲んで吐く、というのを繰り返す(fig5.1)

このような饗宴がよい饗宴と評価され、返礼饗宴が繰り返されることで友好関係が成立していく

165-1

Historical Background to A Particular Feast

集落間における政治的関係のすべての特徴を示す饗宴の例がある

166-1

1950 年、Kaobawä グループは Kreiböwei-täka に居住していた

孤立していたので Iwähikoroba-teri(Shmatari 集落)と同盟を作ろうとした

Iwähikoroba-teri は別の Shamatarari 集落、Möwaraoba-teri と交流があった(数年前に分村した)

一方で、1940 年代に Kaobawä グループと Möwaraoba-teri は戦争状態になっていた

(エピソード参照)

Kaobawä グループは Iwähikoroba-teri との同盟関係を促進させようとして、彼らの饗宴の招待に応じて、Amiana- täkato 呼ばれる彼らの菜園を訪れた。

...彼らは交換関係の段階までしか到達していなかった

166-2

しかし、Iwähikoroba-teri は Möwaraoba-teri を援助して、Kaobawä グループ男性を皆殺しにして女性を略奪しようとしていた(註2: Hasuböwä-teri のグループも参加していた)。

...Möwaraoba-teri は集落外のジャングルに隠れていた

Kaobawä グループ男性が歌い踊りながらやって来て、主催者の住居内に招かれた。

...その瞬間、Iwähikoroba-teri は斧と棒で殴りかかり、Kaobawä グループ男性らが柵を壊して逃げ出すまでに数十人の Kaobawä グループ男性を殺害した(この中に Kaobawä の父親もいた)

集落の外では、Möwaraoba-teri から矢を射かけられ、多くの負傷者が出た(死亡者は少なかった)

多くの女性や少女が、Iwähikoroba-teri に捕らえられた(数人は後の報復戦で取り返された)

男が皆殺しにされなかったのはおそらく Iwähikoroba-teri の女性獲得への貪欲さが原因だった

...Iwähikoroba-teri と Möwaraoba-teri の中の数人は、この虐殺への参加を拒んで、Kaobawä グループ男性数人の逃亡を手助けした。

166-3

K aobawä と他の生存者は Kobou に逃れた

...新しい菜園のために伐採をし、鋤を抜いて傷の手当をした。

Kreiböwei への回帰を望む...・新しい Kobou の生産量ではグループが飢えてしまう

・生産力のない弱った状態では敵につけこまれてしまう

166-4

事件から 1 週間かそらのうちに Mahekodo-teri(K aobawä グループの同盟相手)が、虐殺事件を聞きつけて援助を申し出てきた。

...Mahekodo-teri のヘッドマン自らが K aobawä 集落を訪れ、彼の集落への避難を勧めた。

1951 年 1 月、K aobawä グループは報復戦をおこなった後で Mahekodo-teri に避難した。

168-1

Mahekodo-teri は明らかに優位な取引の立場に立った

...K aobawä グループを保護する代償として、K aobawä グループの多くの女性を要求し手に入れた

K aobawä グループは Mahekodo-teri に対する疑心を深め、一刻も早く、新しい菜園を開いて自立しようとした(1 年かかった)

後に Mahekodo-teri は 3 つグループに分離した

...そのうちの 1 つのグループから K aobawä たちが聞いた話によると

Mahekodo-teri は K aobawä グループ男性を殺して女性を奪おうと計画していたらしい

...その計画を防げたのは、Mahekodo-teri が他集落と戦争状態になり、K aobawä グループの援助が必要になったためであった。

168-2

Mahekodo-teri のもとを離れて数年間、K aobawä グループは饗宴に招待された

...しかし、K aobawä グループは Mahekodo-teri の企みを疑っていたので

饗宴の間は、女性と子どもをジャングルに隠しておいた(男性だけなら被害は最小限になる)

そのようにして両グループの関係は冷めていった。(しかし平和ではあった)

168-3

1960 年までに K aobawä グループは戦力をいくらか回復し、3 つの Shmatari 集落と同盟した

...Paruritawä-teri : Iwähikoroba-teri と敵対関係にあり、Möwaraoba-teri とは饗宴関係にあった

K aobawä グループは 1950 年の虐殺事件と同様の手口での復讐を企てた

...Paruritawä-teri が Möwaraoba-teri を饗宴に招待したところを襲撃する

しかし、訪れた Möwaraoba-teri はほんのわずかだった(他はマラリアにかかって来られなかった)

男性 5 人中 3 人を殺害し、彼らの女性 4 人を奪った

...この「復讐饗宴」は部分的には成功したが、満足のいくものではなかった

Paruritawä-teri は Möwaraoba-teri の復讐を避けるために分裂を余儀なくされた

Mömariböwei-teri と Reyaboböwei-teri に分裂し、K aobawä グループとの同盟は維持された

169-1

1965 年の初め、K aobawä たちは Reyaboböwei-teri に向かった

...Möwaraoba-teri への新たな「復讐饗宴」を要請するため

2 週間近く集落を空けるため、女性と子どもを守るために数人の男性が残った

...彼らはほぼ毎日一日中、Chagnon の小屋に群がって、ショットガンを見せてくれとせがんだ

彼らは Widokaiya-teri(北方の集落。Fig5.2 には入っていない)を警戒していた

Chagnon の小屋は Widokaiya-teri の襲撃路に位置しており、隣で見張りが夜襲に備えていた

169-2

昼間は Chagnon のショットガンが集落を守り、夜は男たちが自分たちの武器で守っていた。
「この事件は同盟関係のほとんど完全な信頼の欠如を強調する；Kaobawä グループのメンバーは
敵の襲撃よりも、彼らの友人である同盟相手の襲撃に備えていたのだ！」

169-3

Kaobawä たちが出かけてから 10 日の間に 6 人の訪問者が交換をしにやってきた。
...彼らには男性が出かけていて、女性の防御が手薄だということは明らかだった
その情報はオリノコ川上流の彼らの同盟集落に伝えられた。Mahekodo-teri もその 1 つだった

169-4

サレジオ会宣教師 Padre Luis Cocco が Chagnon のもとにやって来た
...「大勢の Mahekodo-teri が女性を略奪するために Bisaasi-teri に向かった」という Mahekodo-teri
にあるサレジオ会宣教師団からの低周波ラジオを通した情報をもってきてくれた。
Chagnon の立場：・下手な噂をたてると戦争を引き起こしてしまう(ガセネタだったら最悪)
・黙っていてもし本当に襲撃されたら、女性を奪うために男性が殺されてしまう
幸運なことに、午後の早くに Kaobawä たちが帰ってきた(Chagnon は決断せずに済んだ)
...「復讐饗宴」は失敗した(Mahekodo-teri が訪問する前に企てが密告されてしまった)

169-5

その午後の遅くに、Mahekodo-teri は近隣へ「camping trip」をしていたことが分かった。
...Kaobawä はもちろん彼らの話を疑ったが、彼らを饗宴に招待して友好意識を示そうとした。
Kaobawä たちが 2 週間近く集落を空けている間、菜園には豊富な食料があり、Mahekodo-teri や
彼らと共に移動していた Boreta-teri(約 100 人(女性や子どもも連れていた))などに襲撃されてもお
かしくなかった。

170-1

この種のコンテクストでの饗宴の状況は、当事者間の特殊な歴史的関係と相互不信関係の性質をよ
り明確に教えてくれる。

170-2

The Feast

Kaobawä は Karohi-teri も招待した。
Karohi-teri...小規模だが、頼れる同盟相手であり、かなり昔に Mahekodo-teri から分村していた
Rerebawä の出身集落
Mahekodo-teri と Boreta-teri のつながりはとても強いので、
饗宴で何が起こってもおかしくはなかった
Karohi-teri の協力を得て、Kaobawä グループはより平等的に訪問者たちに対面しようとした

170-3

饗宴の日に伝達者によって招待が伝えられた後に訪問者は出発するという慣習があった
しかし、Mahekodo-teri と Boreta-teri は傲慢にも 1 週間近く早く Kaobawä グループを訪れた
...Kaobawä たちが饗宴の準備をし、集落から離れた所に一時的な大規模キャンプを設営する前に
彼らはゲストであるため、正当に食物を要求できた
...Kaobawä たちは 100 人近い彼らへの食物提供を義務づけられてしまった
Kaobawä は彼らの無礼な行為に少し困惑したが、その後の対応は実に冷静だった

170-4

Kaobawä のバナナが大量に収穫され、1 週間後に date(バナナ・プディングのような甘いスープ)にするためにねかせられた。

饗宴後に訪問者たちに与えるための大量の肉を確保するために若者たちから成る hunting party を結成させた。(彼らの多くは Shmatari 行きの疲れが残っていたので狩りに行きたがらなかった)

狩り heniyomou は、ヘッドマンのバナナの収穫とともに饗宴をはじめさせるものであった(普通はこの時から饗宴の興奮がはじまる)

170-5

その日の午後、狩りの成功を祈って若い男女が歌い踊った(amoamo)

若者が heniyomou に出かけた後、女性と少女はその成功を祈って毎晩踊り続ける。

171-1

hunter たちは狩りの間に食べるために大量の食料を持っていく

Mavaca 川の 15 マイル上流までカヌーで行き、そこを狩り場を選んだ。

彼らの獲物：サル、アルマジロ、野性のシチメンチョウ、イノシシ、カイマン、バク、paruri bird、
amotas、オオテンジクネズミ、小鳥、野性のシチメンチョウの小型種、昆虫、魚

4 日後にバナナを補給しに戻ってくる。

その際、猟果を報告した(basho(特に大きなサル)を獲っていたので小さな歓声があった)

カメの卵もたくさん獲るが、ほとんど彼らが食べてしまう(訪問者に与える必要はない)。

171-2

訪問者は大食家になるため、主催者は不平を漏らしはじめる

...さらに訪問者は食料を要求する 故意に Kaobawä たちに負担をかけようとする

Kaobawä たちは不平を漏らしながらも提供する

彼らは食料が不足していることを招待者に知られたくなかった

その代わり、返礼が困難になるであろうという規模まで饗宴を大きくしようと企んだ

171-3

hunter たちが Kaobawä のもとに獲物をもって帰ってきた

...燻製にされ、葉の束で包まれる

Kaobawä はしばらくそれを眺めていたが、ゆっくりと燻製を包装しはじめた。

...皆(とくに hunter たち)がそれを見ていた(fig . 5.3)

誇るべき成果だった：17 頭の basho、7 羽の野性のシチメンチョウ、3 匹の大きなアルマジロ

171-4

Kaobawä たちは饗宴を行うことで、招待者たちを帰らせて、菜園の消耗を終わらせたいと思った。

171-5

饗宴は hunter たちが帰ってきた翌日からに変更された(Karohi-teri はまだ到着していなかったが)

...貪欲な招待者たちからはやく解放されたかった

(後日 Karohi-teri のために別の饗宴をおこなおうと決めた。余計な仕事量が増えてしまうが、とにかく Mahekodo-teri たちからは解放されたかった)

172-1

饗宴の日の朝、masiri 木の 3 枚の大きな樹皮で、熟したバナナを煮るための桶が作られた。
...狩りから帰った若者が一日中、大量のバナナを煮込んでいた

172-2

房になっているバナナを 1 本 1 本に分けて、二つに折って煮る。皮は捨てる。

青いバナナも大量に煮られて、燻製肉を贈与する際の添え物にされる。

Yanomamö のエチケツト。これが無いと失礼になる。

(註 6：煮た青いバナナ、煮た rasha、タピオカのパンが一般的。「バナナ饗宴」と称されることもあるが、Yanomamö の饗宴は豊穰祭ではない)

173-1

青いバナナの皮をむくのは難しい...傷つきやすい 歯を使う

2 人の若者は、指と歯だけで約 95 ガロンのバナナ・スープと大きなバスケット数十個分の青いバナナを用意した

173-2

Kaobawä は、皆が集落の中央の草をむしって dancing plaza を作っている所へ向かった。

Yanomamö のヘッドマンは直接命令することはできず、グループを仕切って皆が手伝ってくれることを期待する。

Kaobawä は草むしりが十分だと知ると、食物の準備状況を見回ってからハンモックで休んだ

173-3

時間が経つにつれ、だんだん集落内の興奮が高まっていき、叫び声が多くなっていく。

正午には、しばらく叫び声競争が主催者 / 訪問者間で繰り広げられる。

しかし、お互いダンスの準備が忙しくなってくると叫び声もおさまっていく。

173-4

正午過ぎに「訪問者が夜のうちに菜園に忍び込んで予備のバナナを盗んだ」という噂が流れた
主催者側はこの噂に狼狽し、胸叩きの決闘で問題を解決しようという別のざわめきが起こった。

...しかし、訪問者は一週間の余分な滞在と過度の食事によってすでに疲れていた

主催者側は怒る...訪問者が故意に主催者に負荷をかけていたのは明らかだった

主催者側は訪問者側を脅していた

173-5

饗宴の準備が完了した

男性たちは赤と黒に化粧をし、カラフルな羽根を着ける

shabono の中を清掃し、訪問者用の大量の食物を用意する。

そして、ebene を吸う...グループに分かれ、3 フィートほどの管を使ってお互いの鼻に吹き込む

174-1

男性が ebene を吸っている間

女性はお互いに化粧や装飾をするのに忙しい 訪問者も同様

午後半ばには興奮は熱狂の域に達する

...女性はすでに交換用バスケットを完成させていた

しかし、Kaobawä の弟たちは大量のバナナの単調な調理を続けていた。

174-2

訪問者側の年配者が shabono の中に入ってきて、非儀式的に広場をゆっくりと進む

Kaobawä たちは彼を喝采する

...その年配者は高齢過ぎてダンスには参加できないが、非常に尊敬されているため、若い男性がダンスをしている間、女性や子どもと後ろで待っているようなことはできない。

一方で、訪問者側が **Kaobawä** たちの饗宴にこの代表者を参加させる気がないという証拠

174-3

Lower Bisaasi-teri のメンバーも **Kaobawä** グループに加わる

...彼らも **Mahekodo-teri** と友好関係にある(1950 年の虐殺事件後、世話になった)

そのうえ、彼らにとって他グループの食物を大量に食べられる機会でもある

Kumamawä(**Kaobawä** の父親の兄弟)...分村前のヘッドマン

...分村の際、彼は **Lower Bisaasi-teri** を率い、**Kaobawä** に上流のグループを率いることを任せた。

...また、両グループが合同で饗宴をおこなう際には、**Kumamawä** が訪問者側の代表者 **Asiawä**(**Mahekodo-teri** ヘッドマンの息子)に詠唱の名誉を認めた。

174-4

年配者が入村して 10 分後、**Asiawä** が入場してくる 激しい喝采

Asiawä の華やかな格好：真新しいふんどし、アームバンドに付けられた長く赤いオウムの羽根、猛禽類の綿毛で覆われた黒いサル尾のヘッドバンド

Kaobawä たちの喝采を浴びながら、芝居がかった風に広場中央へ進み、訪問者のポーズをとる

...静止し、顔を上げ、武器を顔の横で垂直に構える

2、3 分そこに立ち続け、**Kaobawä** たちの称賛を受ける

皆が眺められる場所に立つことで平和的、友好的な意思を示す、という意義

...もし主催者側が彼に敵意があれば、彼を殴らなければならない(註 7：訪問に対する慣習)

Asiawä が **Kumamawä** の前に来たとき、二人が詠唱をはじめ 饗宴招待の正式な受け入れ

...膝を跳ね上げ、向かい合ったり、隣り合ったりしながら快活に大声で詠唱する(5 分間ほど)

突然詠唱を止め、**Asiawä** は日に背を向けて蹲踞し、**Kumamawä** はハンモックで休む

喝采も止む

Kaobawä の弟たちがヒョウタン容器一杯のバナナスープを **Asiawä** の前に置く

...**Asiawä** は数分間の間を持って、バナナスープに近づく。口の横の高さで武器を一瞬水平に構えてから武器を下ろし、バナナスープを手にとって一気に飲みます。

彼がスープを飲み干すとすぐに、

Kaobawä の弟たちが煮た青バナナとアルマジロ肉の燻製の入った大きなバスケットを持ってくる。

...かごの紐が、**Asiawä** の頭部装飾をくずさないように頭を通され、肩にかけられる。

(芝居風に見れば)彼は包みかごを背負ってよろめきながらすぐに **shabono** を出ていく(再び主催者側の激しい喝采を浴びながら)。

...その食物は訪問者たちの装飾が終わる間に食べられる。各自の分け前は少ない。

175-1

1 時間半後、訪問者側の装飾が終わり、入口の外に集まる

...男性が前に、女性、子どもは家族の荷物を持って後ろに集まる

Asiawä の父親(**Mahekodo-teri** ヘッドマン)の合図で、まず 2 人のダンサーが **shabono** の中に入る左右に分かれて広場の周縁を踊りながら進む。

...**Kaobawä** たちは叫び声と金切り声をあげて熱狂的に彼らを迎え入れる。

ダンサーの二人は足踏みをしながら装飾と武器を激しく強調し、一周して **shabono** 外に出る。

各自が特異な装飾とダンス・ステップで、自己表現する

全員が踊ると、皆で **shabono** の中に入り、一列になって数回広場の周囲を踊る。

その後、広場に集まり密集した集団になる(fig . 5.4)

...静止し、胸をふくらませ、武器を垂直に構える

Kaobawä の仲間たちが、招待者の腕をとって居住地に招き入れる

...招待者の家族が入口で見ている、荷物を持って非儀式的に主催者の居住地で合流する。

数分内に広場は無人になり、招待者は主催者のハンモックで快適に休憩する。

...脚を組み、片手を頭の後ろにまわし、天井を見つめ、主催者のバナナ・スープを待つ。

無言の美装表示

176-1

招待者側がバナナ・スープを飲んだ後、今度は Kaobawä たちが入口から入ってきて踊り出す。

同様に自己表示をおこなう

176-2

3つのバナナ・スープ桶のうち、1つがこの段階で空になった。

訪問者たちは2つ目の桶のバナナ・スープを飲みはじめた(fig . 5.5)

彼らは飲んでハングリーで休み、消費と食欲回復を繰り返した。

約2時間後に彼らは飲むのをやめたが、翌朝までにはすべて(95 ガロン)を飲み尽くしてしまった。

(註9：饗宴中に死者の灰を飲むこともある。また、饗宴が急襲に利用されることもある)

176-3

夕方過ぎから夕暮れまでに、耐久詠唱合戦(waiyamou)がおこなわれる。

交換が始まる

...訪問者はおみやげのバスケット(煮た青バナナと燻製肉)を受け取る

欲しい品がある者は、ヘッドマンを通してその意を Kaobawä に伝え、Kaobawä はその品を提供してくれるメンバーをおだてて、それを手に入れる。

その品は、それを欲しがった招待者の足元に投げられる

...彼はそれをしばらく無視してから、その品に粗雑な説明を与え、投げ返す

彼の仲間はそれを詳細に説明して、長所を激賞する。(提供者は短所のいいわけをする)

もし、それがとくに悪質のものであった場合

...提供者はそれの不明瞭な利点を挙げるが、逆に受取側は明らかな欠点に注意を向ける

提供者は気前がよくなければならないと感じていて、交換後、得しなかったと不平を漏らす。

交換は効率的だが激しい討論をとまなう

主催者側は選択的に品々を隠して、それらは持っていないと大げさに言う。

...招待者側も同様(ex.良質の弓を新たに見つけても交換用に悪質の弓も持ってくる)

この時はここ数年ではじめて何も交換されず、代わりに訪問者たちは no mraiha の品(のちに支払われる)を要求した。

178-1

朝8時までには、おみやげも渡され、交換も終わった(標準的時間よりもかなり早かった)

招待者たちはもう少し残って、Kaobawä たちが開く Karohi-teri のための饗宴を少しだけ見ようと決めた(礼儀上はこの時点で帰るものだが、彼らは無礼極まりなかった)

Kaobawä たちにとって、これは彼らの一連の無礼さに対する我慢の限界だった。

Kaobawä たちは彼らに、もしまだ居残る気なら胸叩きの決闘を申し込むぞ、と脅した。

178-2

訪問者たちは問題の火種を探していて、Kaobawä たちは胸叩きの決闘で対応せざるをえなかった

彼らの脅しは成功して訪問者たちを追い返した。彼らは得意気になっていた。

178-3

同じ日に Karohi-teri への饗宴を開いた。Lower Bisaasi-teri はすでに帰っていた。

178-4

The Chest-Pounding Duel

Karohi-teri との饗宴は Mahekodo-teri の場合とほぼ同様に進行した。

ダンスが終わって夜が更けると、再び詠唱がはじまった。

...最初のペアでさえ周囲の叫び声がうるさくて詠唱を調子よく合わせることができなかった。

彼らは矢柄と弓を打ち鳴らしたり、斧の頭を薪や地面に打ちつけたりして怒鳴り返しはじめた。

Boreta-teri と Mahekodo-teri の男性が胸叩きの決闘を受けるために shabono に入ってきた

...集落を一周して中央に集まった主催者側の男性を攻撃するふりをする

主催者側は彼らを取り囲み、武器を構えて踊る。

食物の盗みと食べ過ぎに関して激しい口論がなされ、お互い威嚇的に武器を振り回す

数分内に群集は二手に分かれ、胸叩きの決闘がはじまる。

Karohi-teri は Kaobawä に協力し、Lower Bisaasi-teri も応援に駆けつけた。

...約 60 人の成人男性が集まり、主催者側と客側に別れた

決闘...1 人が脚を広げ、胸を膨らませ、両手を後ろに組んで、殴られる (fig . 5.6)

殴る方は自分にとって有利な距離をとって、数回素振りをする(ピッチャーのように腕を回す)。

両足は地面につけたまま、相手の左胸の筋肉を思いきり体重を乗せてげんこつで殴る。

殴られた方は、しばしば膝から崩れ落ちて、しばらくよろめき、頭を振って意識をはっきりさせようとする(ただし、声はださない)

相手の胸には「カエル」のようなあざができる。

攻撃側の仲間たちは、歓声を上げ、膝の上や下を叩き、武器を頭上で振り回したり鳴らしたりする。

殴られる方の仲間は、彼を狂ったようにあおり立てて殴り返せと迫る

...もし相手を地面に倒れさせたら

...殴った方は手をあげ、白目をむき、倒れている相手の周りを叫びながらふらふらと踊り回る

倒れた方は殴り返す権利があれば殴り返す(回数ずつ殴り合わなければならない、リタイアできない)

...倒れた方がケガをした場合でも、代わりにその仲間が殴り返す

強い者は自分が殴った以上に相手から殴られなければならない...waiteri 獰猛さ

180-1

Kaobawä グループの何人かの若者は、ケガを恐れて決闘への参加を嫌がった

...胸叩きに疲労し(3 時間近く続いた)、敗北を危惧した何人かは斧の決闘をやりたいがった。

Kaobawä は斧の決闘が死に至ることを知っていたので、別の決闘(平手打ちの決闘)を要求した。

(ヘッドマンは決闘を管理し、参加はしない)

180-2

平手打ちの決闘...相手の胸郭から骨盤の間を平手打ちする (fig.5.8)

胸叩きよりきつくケガしやすい。地面に倒れ、息を切らし、めまいを起こす

(註 10 : 石で殴り合って腎臓破裂で死亡した例もある)

開始 15 分で Kaobawä グループの男性が気絶してしまい、周囲を怒らせた。

その後数分内に男たちは急に鎌を戦争用(クラーレ(毒)を塗った槍先状のタケ)に交換しはじめた。

...女性と子どもたちは、事態の切迫さを察して泣きはじめ、入口近くの居住地に避難した。

訪問者たちは、自分たちの女性と子どもを円形に囲んで守り、弓を構えた。

二つのグループは一触即発状態になり、静寂の中でらみ合いが続いた。

...Kaobawä や Asiawä らが離れたところに集まり、斧や棍棒を振り回しながら議論をはじめた

突然、訪問者たち数人が Kaobawä らに向かってきて、彼らを両グループの前に引きずりだした

Kaobawä たちは体勢を整えて相手を追い返し、自分たち側に逃げ込んだ

...その間、両グループの女性と子どもは泣き叫びながら shabono から逃げ出した

今にも Kaobawä グループ側から弓が放たれそうだったが、Kaobawä たちが戻り、訪問者側にリーダーたちが戻ると、彼らはたいまつを手に取り shabono を脱出した。

183-1

Kaobawä グループはこの事件に関してそれ以上の行動はとらず、Mahekodo-teri からの返礼饗宴の招待もなかった。その後、別の集落で棍棒の決闘をしてから、さらにひどい関係になった

一時的な和解：Kaobawä グループがある敵対集落を攻撃しにいく途中、狩猟中の Mahekodo-teri に遭遇した(4章)。交換後、Kaobawä グループは帰りの待ち伏せを恐れて、引き返した。

交換関係にはあるが、なにか緊張した潜在的に敵対的な関係

183-2

饗宴...両グループにとって楽しいことであり、相互の結束に貢献する

ただし、饗宴を終わらせるために事前に胸叩きの決闘を承認する場合がある

...18ヶ月中、6の饗宴を観察し、2つが決闘で終結した。

183-3

決闘...当事者たちが行為の規範とみなしている態度や獰猛さを表示しなければならないという態度、あるいは過去の事件を長く記憶していること、による。

饗宴 近隣グループがより深刻な暴力の段階に進まないようにしている

集落間の友好と相互自立を維持する